

Tennis House

5
May
2014

fun



Introduction of Stuff
#4

Takumi Shiraishi

逃げない事
心に刻んだ思いを今

コーチングスタッフ

白石 拓

1991年10月18日生まれ
群馬県太田市出身

全日本ランキング最高位 ダブルス67位
2014年 十勝オープンダブルス準優勝(100万)

生まれ持ったのフィジカルを生かしたストロークが武器。エッグボールと呼ばれる急激に落下するスピンボールは、国内トップ選手に勝るとも劣らない威力を持つ。タッチ系のショットも得意とし、ダブルスの巧者として国内ツアーを転戦中。



テニスとの出会い

テニスとの出会いは、中学の頃に仲の良かった友達に誘われてテニス部に入部したのが最初です。単純に楽しそうだったので迷わずテニス部に入部しました。今考えると、友達に感謝ですね。

上達の方法

とにかく沢山の人とボールを打つ事を心掛けています。人によってボールの質が違うので、違うボールを全て同じ様にコントロールする事が出来れば、上達できると考えています。他には、上手な人の色んな所を盗むようにしています。例えば、配球やポイントの取り方、フットワークなんかを見えています。球が打てるだけでは試合には勝てないので、色んな所を盗んで参考にしています。自分に合う合わないもあるので、自分なりに色々試してみたら取り入れていきます。

あとは、ONとOFFのメリハリを付けるところです。自分にはつきり言って怠け者な性格だと思うの

で、やる時はやると決めないとだらだら練習をしてしまったりします。

身の入らない練習は、自分にとってプラスになる事は無いと思います。こんな偉そうな事が言える立場じゃないんですけどね。(笑)

練習テーマ

最近シングルの試合に挑戦するようになってきたので、シングルの試合を想定したテーマを設けています。僕はストロークには自信があるのですが、試合中もそれに頼り過ぎてしまう所があって、自滅するパターンがあるんです。無理な位置や大勢からエースを取りに行ったりしてしまうのが良くない所だと、いつも振り返って反省しています。

試合中の組み立てを意識して、高い弾道のスピンボールでラリーをして、浅くなったら前に入って行きフリットのボールで攻撃していく事を最近は多く練習しています。そこで決めるだけで無く、そこからラリーに繋げてポイントを取るパターンも増やせるように、組み立てを考えています。攻撃のバリエーション

を広げながら、確率も高くなるように、より試合での勝利を想定した練習を意識しています。

ダブルスの練習では、サーブ&ボレーから、ファーストボレーのストップのタイミングと、ファーストボレーのコースが最近のテーマです。現在のランキングより上位にいる選手は、まずイージーなミスをしなくてすし、きつちりとした配球をしてきます。ここから上位に行くためには、こちらミスが減らす必要が有りますし、より厳しいコースへの配球が求められます。ちよつとしたポジショニングのミスも、簡単に失点に繋がってしまうので、より正確な配球と動きを意識しています。

レッスンテーマ

楽しく元気に！です！funですから、楽しいが一番ですね！

あとは、ラリーは真剣に打ち合う事ですね！真剣勝負は、それだけで上達のヒントが隠れていますからね。そして、なんてったって負けたくないんで。(笑)

テニス観

打って打って攻める！です！

やっぱり自分が得意なストロークで勝つことが、何より嬉しいですし、そこを突き詰めたいです。そして逃げない事です。どんな場面でも、緊張や不安は襲ってきます。それに打ち勝つ事がどれだけ難しい事か、スポーツをしている方にはお分かり頂けるのではないかと思います。



僕の思い出の試合に、高校三年のインターハイがあります。高校最後の試合で、団体戦だったんですけど、色んな人の思いや期待から、ガチガチに緊張してしまって、僕のせいで二回戦で負けてしまったんです。自分があれ程情けなく

思えた試合は無いですね。その時の悔しさが、今も僕をテニスに向かわせています。あのインターハイでもっと成績が出ていたら、今はテニスをやっていないかもしれないですね。だから逃げないと今でも胸に刻んでいます。

ファンの良さ

ファンの良さは、スタッフもお客様も仲が良い事です。それだけじゃなくて、本気で僕を叱って、見守ってくれる人が沢山いる事です。テニスしか出来ない僕ですけど、人間的にも社会人としても少しずつ成長できているのではないかと思います。

僕のお世話になります。いつも感謝しています。レッスンも楽しくできていますし、お客様への感謝を忘れず、これからも頑張りたいと思います。

Tennis House

fun[®]
テニスハウスファン